市民公開講座

佐倉病院市民公開講座
「歩行障害とともに歩む～診断と治療」

露崎助教

岸講師

園部助教

長尾教授

去る 2013 年 5 月 11 日、東棟 7 階の講堂にて、歩行障害をテーマにした市民公開講座が開催されました。雨天にもかかわらず、146 名の方のご参加を頂き、会場は大盛況でした。一言に歩行障害といっても「ふらつく」「小刻みになる」「足がすくむ」「腰や足が痛い」など症状は様々で、その原因は生活習慣病である脳卒中、神経難病、運動器、末梢神経など多種多様の要因が絡んできます。そこで今回は、関係 3 科の医師、薬剤師、理学療法士、看護師、ソーシャルワーカーが集結し、佐倉病院で行われている歩行障害のトータルなケアについて、それぞれの専門的な立場からの講演が行われました。

最初に神経内科の露崎助教から、脳卒中、パーキンソン病を含めた、歩行障害全体についての説明がされました。続いて松尾ソーシャルワーカーから、高額療養費制度による補助、介護保険による補助、難病補助についての説明がされました。次に神経内科の岸講師から、糖尿病の末梢神経障害について、整形外科の園部助教からは、骨粗鬆症を中心とした病気について、脳外科の長尾教授からは、最近話題の脳深部刺激療法や正常圧水頭症、痙性麻痺についてと、歩行障害を及ぼす様々な疾患や病態、対応方法に関する説明がされました。これだけでも盛り沢山の内容でしたが、土井薬剤師からパーキンソン治療薬の服薬管理について、続いて寺山理学療法士から歩行障害を軽減させるストレッチや姿勢の矯正方法について、さらに、京谷看護師より、つまずきを予防する環境整備や足の爪のケアについての説明がされました。最後の質問コーナーでは、会場から多数のご質問・ご意見を頂き、参加された皆様には大いにご参考になったのではないでしょうか。

当日のスライドとアンケートの集計結果は、佐倉病院神経内科のホームページから見ることができますので、ぜひご覧ください。

会場の様子

■ 市民公開講座スケジュール ■ 〈2013 年の市民公開講座　予定〉

開催予定日	講演予定テーマ	担　当
7 ／ 27 (土)	「脳梗塞は怖くない　第2回」“ 診断と治療 ”	神経内科、他
9 ／ 28 (土)	＜がん撲滅キャンペーン＞“ 乳がんと肺がんの治療 ”	外科、内科、他
10 ／ 12 (土)	「出生前診断」、ほか	産婦人科
11 ／ 30 (土)	「認知症」とともに歩む　“ 診断と治療 ”	神経内科、他
12 ／ 14 (土)	未定	メンタルヘルスクリニック

入場無料
申込不要
200席

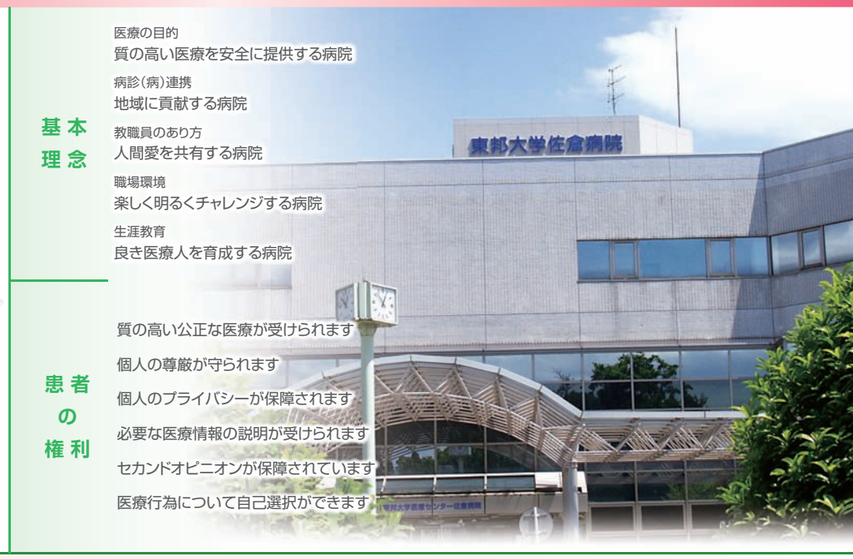
ほぼ毎月、身近な疾患や症状をテーマにした市民公開講座を企画しております。多くの方にご参加いただき、病気の予防や早期発見、普段の生活に役立てていただければと考えております。いずれの講座も14時から当院東棟7階・講堂で開催いたします。詳細は、テーマごとに院内掲示およびホームページなどでご案内いたします。お問い合わせや講演テーマのご要望がございましたら、総務課にご連絡下さい。

東邦大学 佐倉だより

Vol. 21　2013.7.1

東邦大学医療センター佐倉病院
発行 広報委員会・東邦佐倉会事務局

〒285-8741
千葉県佐倉市下志津564番地1
TEL　043-462-8811㈹
FAX　043-462-8820㈹
URL　http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp



基本理念

医療の目的
質の高い医療を安全に提供する病院

病診（病）連携
地域に貢献する病院

教職員のあり方
人間愛を共有する病院

職場環境
楽しく明るくチャレンジする病院

生涯教育
良き医療人を育成する病院

患者の権利

質の高い公正な医療が受けられます
個人の尊厳が守られます
個人のプライバシーが保障されます
必要な医療情報の説明が受けられます
セカンドオピニオンが保障されています
医療行為について自己選択ができます

Topics News
がん診療連携拠点病院体制整備と臨床研修の充実
副院長／教育担当　岡住 慎一

新体制の紹介
■皮膚科
■漢方科外来

医療連携だより
■再来受付機新機種・自動精算機　導入
■「紹介患者事前診療予約制」のご案内

市民公開講座
■「歩行障害とともに歩む~診断と治療」

がん診療連携拠点病院 体制整備と臨床研修の充実

副院長／教育担当
岡 住　慎 一

がんの罹患が 50%を超える日本人の疾病構造の変化の中、当院では地域中核病院として、がん診療拠点病院の指定に向けて、外来化学療法室開設、オンコロジーカンファレンス開催、緩和ケアチーム設立等の準備を進めてきました。2011年11月には、準拠点病院とみなされるがん診療連携協力病院の指定を受け、2013 年度には、放射線治療装置の導入が決定し、拠点病院指定の申請準備を整えています。

本邦では 2012年度から 2016 年度までの 5 年間における、「がん対策推進基本計画」の重点課題を、「放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成」、「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」、「がん登録の推進」、「働く世代や小児へのがん対策の充実」とし、全体目標として「がんによる死亡者の減少（75 歳未満の年齢調整死亡率の 20%減少）」、「がん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の向上」、「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を設定し、分野別施策と個別目標は、「3 年以内のチーム医療の体制の整備」、「5 年以内の緩和ケアの理解と知識・技術の習得、3 年以内の緩和ケアチーム・緩和ケア外来の充実」、「在宅医療・介護サービス提供体制の構築」、「医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取り組み」としています。また、「がんに対する相談支援体制の実現」、「がん登録の推進と法的位置づけの検討」、「2022年までに成人喫煙率を 12%、未成年者 0%」、「検診受診率を 5 年以内に 50%」、「5 年以内の小児がん拠点病院の整備」、「こどもに対するがん教育のあり方の検討」、「がん患者の就労支援体制」が設定されています。これらの背景を受けて、今後がん拠点病院としての活動を通して、キャンサーボード、緩和ケアチーム（緩和外来）、地域がん登録、地域連携パス、がん診療相談窓口等の整備・運営により、がん診療のさらなるレベルアップと地域医療の充実が期待されます。

当院は、地域中核病院としての応需力、高度な先進医療の遂行、大学病院としての新治療法開発に向けた研究を理念とするとともに、臨床研修病院として優れた臨床医の育成を責務としています。そのためには、がん診療研修が必須であり、臨床研修の重点を「プライマリーケアの修練」、「臨床・病理診断学の習得」、「安全管理の習熟」とともに、「がん診療法（治療法・緩和療法・支持療法）の習得」においてきました。今後、がん診療拠点病院指定に向けての準備により、教育・診療・研究をさらに連動させ、ともにさらなる向上を目指していく所存です。

新体制の紹介

皮膚科

准教授
樋口　哲也

2013年4月1日より診療部長となりました。地域医療の中心となるべき大学病院として、吉田前教授とともにここ数年間で佐倉病院皮膚科の診療体制を充実させてきました。我々が力を入れている分野と、現在の佐倉病院皮膚科での診療状況を紹介させていただきます。

1. アレルギー性･自己免疫性皮膚疾患の診断と治療

皮膚免疫学・アレルギー学の発展とともに、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹、接触皮膚炎、薬疹などの多くのアレルギー性疾患の病態や治療および検査法が明らかになってきました。当科は2012年からアレルギー専門医がいる日本アレルギー学会認定教育施設の承認を受けました。パッチテストやプリックテスト、症例によっては入院による負荷テストなどを行い、アレルゲンや増悪因子の解析を行っています。一方アレルゲンが関与しない、あるいは検出の難しいアレルギー性皮膚疾患に対しても、スキンケア指導や適切な内服薬選択などを含めた丁寧な診療を行っています。また自己免疫疾患である水疱症の入院治療や、膠原病の皮膚病変の診断・治療も積極的に行っています。

2. 尋常性乾癬などの難治性皮膚疾患の治療・研究

尋常性乾癬に対しては、全身型ナローバンドUVB照射装置を2009年から導入し、更に2010年からは重症例に対して抗TNFα抗体や抗IL-12/23p40抗体などの生物学的製剤治療を開始し、重症度に合わせた集学的な治療を行っています。また、乾癬患者は高脂血症や糖尿病などを含めたメタボリック症候群との合併も多いことから、当院内科や共同研究室と連携した治療・研究を行っています。当院の全身型照射装置は簡便で安全性が高いため、乾癬だけでなく尋常性白斑や皮膚リンパ腫、さらにアトピー性皮膚炎などの掻痒の強い皮膚疾患にも有効な治療効果を認めています。

3. 早期の診断と治療を目指した皮膚腫瘍治療

日光角化症やボーエン病などの表皮内癌については、近年導入したダーモスコピーのデジタル画像や皮膚生検による早期診断を目標にしています。症例によって治療方法を選択し、手術療法だけでなくイミキモドクリームによる外用療法や光力学的療法など非観血的な治療も行っています。男性外陰部ページェット病については、年に数例全身麻酔下での手術療法を行っています。入院手術が必要な皮膚腫瘍の治療には、クリニカルパスを用いて効率的な入院手術治療ができるようになっています。

4. 当科での外来・入院の診療体制

現在常勤医師5名で診療しています。うち皮膚科専門医2名（今年度中に更に1名取得予定）、女性医師1名が含まれます。外来は平日午前9時台に紹介患者事前診療予約枠を設けており、電話での事前予約が可能となっています。入院ベッドは3階西病棟に定床として7床あり、帯状疱疹や蜂窩織炎などの急性感染症、重症薬疹などについては当日の入院にも対応しています。紹介いただいた患者さんについては、急性期大学病院として精査・加療を行った後に紹介元施設での治療を継続することで、皮膚科医療の地域連携を今後も進めて行きたいと存じます。皮膚疾患に熱心に対応する担当看護師とともに皮膚科スタッフ全員で、この佐倉の地で充実した皮膚科診療が提供できる施設を目指して頑張ってまいります。今後もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

漢方科外来

代謝センター
大平　征宏
龍野　一郎

左より▶
小菅先生
大平助教
佐藤薬剤師

2008年12月に創設された当院の漢方科外来が、本年4月から体制が新しくなりました。当院漢方科創設以来、外来診療のみならず教育においても多大な貢献をされた秋葉哲生客員教授の外来が、惜しまれながら終了してしまいました。しかし、今後も当院漢方科のアドバイザーとして引き続き我々にご尽力いただけることになっています。その秋葉客員教授に代わり、4月から新しく小菅孝明先生が漢方科に加わりました。

小菅先生は東邦大学医学部出身であり、本院である東邦大学大森病院の血液内科に所属しておりました。現在は横浜に小菅医院を開業され、漢方以外にも一般内科などの診療を行い、さらには横浜朱雀漢方医学センターの顧問もされています。このようなお忙しい状況の中、当院の漢方科外来を第1、第3木曜日の月2回診療していただけることになりました。当院漢方科はいずれの外来も半日しかありませんが、予約数は常時40人近くにのぼり、さらに初診患者も多い時で10人来院する状況です。特に初診の方の待ち時間が長時間になってしまっている問題を抱えています。したがって、小菅先生に月2回の外来診療をしていただけることは、漢方科外来の混雑緩和につながり、さらには小菅先生の診療を通して我々も新たな発想を得ることが出来ると期待しています。

漢方治療の理想は、西洋医学と漢方治療の融合です。西洋薬による治療と、漢方薬による治療を合わせることにより、より大きな治療効果を生み出すことができると考えています。実際に、当院では減量手術後の過食に漢方薬が奏効し、過食の抑制さらには体重減少を来した症例や、西洋薬が副作用で使用できず治療に難渋していた潰瘍性大腸炎の症例に対し、漢方薬処方により徐々に症状ならびに検査所見が改善した症例も経験しています。このように、難治性疾患に対し漢方薬治療を併用することで、症状を軽減させる、あるいは西洋薬の投与量を減らすことができる可能性があります。これこそが、漢方治療の理想と考えています。

当院の漢方科外来は、創設からのこの約4年半、外来患者数は右肩上がりに増えています。しかし、まだまだ西洋医学による治療中で、治療に難渋している症例に関しては未開拓な部分があります。小菅先生という新しい“武器”を得て、これから当院の漢方科として、西洋医学で治療に難渋する症例に立ち向かえればと考えています。

当院漢方科外来は第1月曜、第1木曜、第2水曜、第3木曜午後、また第4土曜の午前中のみになっております。漢方薬治療を希望する患者のみならず、西洋医学治療で難渋している症例にも受診の適応があると考えています。

医療連携だより

『受付』及び『会計』方法が新しくなりました

これまでの再来受付機は予約患者さんに限ってご利用可能でしたが、このたび新機種へ変更致しましたので、予約外患者さんについてもご自身で簡単なタッチパネル画面を操作いただくことで受付ができるようになりました。（一部の診療科を除く）

ただし、当院へ初めて来院した患者さん及び当院へ1年以上来院のない患者さんは、従前どおり診察申込書をご記入のうえ【①初診受付】窓口へお越しいただく必要があります。

あわせて、外来診療費のお支払いは専用の機械（医療費自動精算機）でのお支払いができるようになりました。

診察や各種検査が終わりましたら会計フロアの【⑤ホルダー渡し】窓口へ外来診療案内票をご提出いただきますと、お支払いの順番票をお渡し致します。2箇所に設置しておりますディスプレイに順番票の番号が表示されましたら、医療費自動精算機により外来診療費をお支払いただけます。医療費自動精算機は、各種クレジットカード（アメックス等の一部のカードを除く）又はデビットカードのご利用も可能となっており、次回の予約日時を印字した予約票及び領収書、明細書も発行致します。

事前の推計では、外来患者さんの概ね90%の方に、医療費自動精算機を利用して頂ける見込みであり、会計待ち時間の短縮及び会計フロアの混雑解消につながるものと確信しております。今後とも患者さんへのサービス向上に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

「紹介患者事前診療予約制」のご案内

従来、当院では初診紹介患者の事前診療予約は行っていませんでしたが、診療までの待ち時間短縮と診療の質の向上のために、2012年1月より「紹介患者事前診療予約制」を順次導入いたしました。ご利用頂くと、受診当日の初診手続きや診療待ち時間が短くなるなど、患者さんのメリットになりますので、ぜひご利用下さい。

※看護師・事務の方からのお電話でもご予約可能です。

※なお、一般外来は従前通り、事前診療予約のない場合も、受診が可能です。（一部外来を除く）

【予約手順】

①紹介元医療機関から予約のお電話をお願いします。
- 患者さんのカナ氏名・生年月日・電話番号をお伺いします。
- 患者さんの受診希望日などございましたら可能な範囲で調整します。

②当院より予約確認書（患者控・紹介元医療機関控）をFAXします。
原則、予約の電話を頂戴してから15分以内。

③患者さんに、当院からお送りした予約確認書（患者控）と、紹介状などの書類をお渡し下さい。

受付時間｜平　日 8:30～16:30
土曜日 8:30～13:00
休診日を除く

連絡先｜コンシェルジュ（総合相談）
事前予約専用電話 043-462-8875

紹介患者事前予約可能な診療科

診療科	一般・専門外来	詳細			
呼吸器内科	一般外来	月～金曜	8:30～9:00	土曜	8:30～9:30
神経内科	一般外来	月曜	13:00~14:30	火曜～木曜	10:00~11:30
	ものわすれ外来	金曜	13:00~15:00		
循環器センター	一般外来	月～金曜	9:00~10:00		
糖尿病内分泌代謝センター	一般外来	月･火･水･金曜	8:30～9:00	14:00~16:00	DMのコントロール、合併症（動脈硬化、三大合併症）評価を目的にご紹介下さい。
		木曜	14:00~16:00		
	内分泌性疾患外来（ホルモン外来）	木曜	13:00~15:00		難治性高血圧・二次性高血圧・甲状腺疾患・副腎疾患・性腺疾患・骨Ca代謝疾患・視床下部下垂体疾患などのホルモン異常が疑われる患者さんが対象です。※糖尿病・脂質異常症などの糖尿病性疾患のご紹介については、従来通り紹介状とともに平日11時までにご受診いただけるようご案内下さい。
	高度肥満症治療外来	木曜	14:00~16:00		BMI135以上あるいは132以上で糖尿病などの合併症を有する高度肥満患者（とくに減量手術を希望されるような方）※可能な限りキーパーソンとなるご家族の同伴をお願いいたします。
消化器内科	一般外来	月～金曜	9:00~10:00		
泌尿器科	一般外来	月･水･土曜	10:00~11:00	金曜	9:30~11:00
整形外科	一般外来	木曜	13:00~14:00		
	医師指定	中川 晃一　教授		月曜 木曜	13:00~14:00 13:00~15:00（第4以外）
		青木 保親　准教授		木曜	14:00~15:00
		中島　新　准教授		水曜	14:00~15:00（第1･第3のみ）
形成外科	一般外来	月･木･土曜	9:00～9:30		
皮膚科	一般外来	月～金曜	9:00~10:00		
産婦人科	一般外来	木下 俊彦　教授		火･金曜	11:00~12:00
	周産期専門外来	竹下 直樹　准教授			出生前の胎児を可能な限り評価し、妊娠･分娩･新生児管理を適切に行い、新生児予後の改善に寄与することを目的とします。治療には周産期専門医・臨床遺伝専門医があたり、患者の不安を取り除き周産期管理致します。ご紹介頂ける症例としましては、母体合併症、日常診療で胎児形態異常（胎児奇形、染色体異常など）が疑われる場合、重症な胎児発育不全など。また、遺伝性疾患が疑われる場合や、遺伝相談も可能です。
		火･木曜	13:00~16:00		
	内視鏡（腹腔鏡･子宮鏡）外来	高島 明子　助教 月･木曜	14:00~15:00		良性疾患を対象に、腹腔鏡又は子宮鏡手術を希望される患者さんに対して日本産婦人科内視鏡学会認定医が対応致します。子宮鏡のみの依頼も可能です。
眼科	医師指定	前野 貴俊　教授		水曜	13:00~15:00 原則、網膜硝子体疾患を対象としております。
耳鼻咽喉科	一般外来	月･水･金曜	9:00~10:00		
	中耳炎外来	月曜日	14:30~16:00	（第1以外）	中耳手術症例を対象としております。
麻酔科	一般外来	火･金曜	13:00~13:30		
外科	一般外来	月～金曜	9:00~11:00		
	医師指定	加藤 良二　教授		水曜	11:30~12:00
乳腺外科	一般外来	月･火･木･金曜	14:00~15:00		紹介状以外に画像情報・病理情報（標本）等ある場合は必ずお持ちいただけるようお願いします。
消化器外科	一般外来	月･水･木･金曜	9:00~11:00	火曜	13:00~14:00
脳神経外科	一般外来	月･水･木･金曜	9:00~12:00		
小児科	一般外来	水･木曜	9:00~10:00		
	小児神経外来	金曜	14:30~16:00		けいれん性疾患、発達障害などの慢性神経疾患を中心にご紹介下さい。
メンタルヘルスクリニック	勤労者専門外来	月曜（第2、第3） 火曜（第1、第4）	14:00~15:00 14:00~15:00		メンタルヘルス上の理由により休業する勤労者が増加傾向にあるため、勤労者事門外来を設置しました。現在、お仕事に就かれており（休業中の方も可）、仕事や職業生活に関して強い不安、悩み、ストレスを感じている方のご紹介をお願いします。
	認知症専門外来	月曜	9:00～9:30		認知症が疑われる方につきまして，詳細な心理検査と画像診断により精査し、診断させていただきます。治療薬の選択等のアドバイスもさせていただきます。※さくらパス（佐倉市認知症地域連携ネットワークパス）をご利用の方は、神経内科（ものわすれ外来）をご予約下さい。